

| 航空自衛隊仕様書 | | | | |
|----------------|---------------|--|---------------|-------------|
| 仕様書の 種類 | 内容による分類 | | 装備品等仕様書 | |
| | 性質による分類 | | 個別仕様書 | |
| 物品番号 | | | 仕様書番号 | |
| 品名 又は 件名 | レッカ車（ペトリオット用） | | CPS-V23144-11 | |
| | | | 長官承認 | 昭和63年 9月22日 |
| | | | 作成 | 昭和63年 7月18日 |
| | | | 改正 | 令和 6年10月17日 |
| | | | | 令和 7年11月18日 |
| 作成部隊等名 | 補給本部 | | | |

1 総則

1.1 適用範囲

この仕様書は、航空自衛隊の装備品等の回収、後送、荷役作業及びペトリオットミサイルの積み卸し作業等に使用するレッカ車について規定する。

1.2 用語及び定義

この仕様書に用いる主な用語及び定義は、DSP D 6013の1.2、C&LPS-V0008の1.2及びC&LPS-Y00007の1.2による。

1.3 種類

種類は、表1による。

なお、調達する種類は、調達要領指定書により指定する。

表1—種類

| 種類 | 物品番号 |
|---------------|-----------------|
| レッカ車 | 2320-422-1197-5 |
| レッカ車（ペトリオット用） | |

1.4 製品の呼び方

製品の呼び方は、種類による。

例 レッカ車（ペトリオット用）

1.5 引用文書

この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部をなすものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

なお、引用文書に定める内容がこの仕様書に定める内容と相違する場合は、c)を除き、この仕様書に定める内容が優先する。

| 品名 | レッカ車 |
|----|------|
|----|------|

a) 規格

J I S D 6 3 0 1 自走クレーンの構造性能基準
 J I S G 3 5 2 5 ワイヤロープ

b) 仕様書

D S P D 6 0 1 3 7 tトラック
 C P S - E 5 8 1 1 9 3 高射部隊用無線機
 C P S - V 2 3 1 5 1 ミサイル運搬車
 C & L P S - V 0 0 0 0 8 車両等共通仕様書
 C & L P S - Y 0 0 0 0 7 調達品等一般共通仕様書
 M I L - D T L - 6 4 1 5 9 CAMOUFLAGE COATING, WATER DISPERSIBLE ALIPHATIC
 POLYURETHANE, CHEMICAL AGENT RESISTANT

c) 法令等

消防法（昭和23年法律第186号）
 クレーン等安全規則（昭和47年労働省令第34号）
 移動式クレーン構造規格（平成7年労働省告示第135号）
 自衛隊の使用する自動車に関する訓令（昭和45年防衛庁訓令第1号）
 道路運送車両法（昭和26年法律第185号）
 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）
 環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成13年環境省告示第11号）

2 製品に関する要求

2.1 一般的要求

一般的要求は、C & L P S - V 0 0 0 0 8の2.1によるほか、クレーン等安全規則、移動式クレーン構造規格及び自衛隊の使用する自動車に関する訓令に適合しなければならない。

なお、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律に基づく、環境物品等の調達の推進に関する基本方針は、適用しない。

2.2 材料・部品・加工方法

材料、部品及び加工方法は、C & L P S - V 0 0 0 0 8の2.2によるほか、D S P D 6 0 1 3による。

2.3 構成

構成は、次による。

- a) シヤシ
- b) 動力取出装置
- c) クレーン装置
- d) クレーン操作室
- e) 前方ウインチ装置
- f) 後方ウインチ装置
- g) 附属装置等

| | |
|-----|------|
| 品 名 | レッカ車 |
|-----|------|

2.4 構造・形状・寸法・質量

2.4.1 構造

構造は、図1を基準とし、次によるほか、細部は承認図面による。

a) シャシ

シャシは、次による。

1) 機関 機関は、DSP D 6013の2.5.1 a)による。

なお、クレーン装置、前方ウインチ装置及び後方ウインチ装置用の電子ガバナークントロールを操縦室後部に取り付ける。

2) 車体 動力伝達装置、走行装置、ブレーキ装置、懸架装置、かじ取り装置、フレーム、操縦室及び灯火類は、DSP D 6013の2.5.1 b) から g) 及び i) による。ただし、後部の懸架装置は、半だ円板ばね及びリジットビーム付きトラニオンボギー式の車軸懸架とし、トルクロッドを用いる。

b) 動力取出装置

動力取出装置は、クレーン装置油圧ポンプ駆動の動力を、変速機側面から取り出す方式とする。

c) クレーン装置

クレーン装置は、次による。

1) 動力は、油圧式とする。

2) アウトリガ装置は、油圧式とし、クレーン支持はり（梁）の4隅に各1基設ける。

3) 旋回装置は、油圧モータ駆動、歯車減速式とし、旋回サークルは、360度全旋回式とする。

4) 巻上げ装置は、油圧モータ駆動、歯車減速式とする。

なお、ワイヤロープは、JIS G 3525のワイヤロープ6×Fi(29)、普通Zより、B種、12.5mmとする。

5) 起伏装置は、油圧シリンダ直押式とする。

6) ブームは、油圧シリンダ及びワイヤロープ併用による同時伸縮式で、鋼板製箱形全溶接構造とする。

7) ブーム及び巻上げ装置の各操作レバー類は、クレーン操作室内に設ける。

なお、各操作レバーは、単独で操作が可能な構造とし、操作レバー類の付近でアクセル操作が可能な構造とする。

8) アウトリガ及びアウトリガジャッキの操作レバー類は、クレーン部側方及びクレーン操作室内に設ける。

d) クレーン操作室

クレーン操作室は、次による。

1) クレーン操作室は、コックピット構造とし、クレーン上部旋回体上に設ける。

2) 四周の安全を確認可能な大きな窓を有しなければならない。

3) 正面の窓には、窓拭き装置を有しなければならない。

4) 室内に、暖房及び冷房装置を取り付ける場合は、調達要領指定書による。

| | |
|-----|------|
| 品 名 | レッカ車 |
|-----|------|

5) クレーン操作席からアウトリガの遠隔操作が可能でなければならない。

e) 前方ウインチ装置

前方ウインチ装置は、次による。

- 1) 前方ウインチ装置は、フレーム前端の中間で、バンパの後方に取り付けたドラムクラッチ付きの横置きドラム形とする。
なお、油圧回路安全装置を有しなければならない。
- 2) 動力は、油圧モータ駆動、歯車減速式でクレーン装置用油圧ポンプより取り出す。
- 3) ワイヤロープは、一端に単索時の最大荷重に耐えられるフックを備えた **J I S G 3 5 2 5** のワイヤロープ 6×37、普通 Z より、A 種、16 mm とし、有効長は 60 m 以上とする。
- 4) 操作レバーは、操縦席付近に取り付ける。

f) 後方ウインチ装置

後方ウインチ装置は、次による。

- 1) 後方ウインチ装置は、クレーン旋回支持体後方中間に取り付けたドラムクラッチ付きの横置きドラム形とする。
なお、油圧回路安全装置を有しなければならない。
- 2) 動力は、油圧モータ駆動、歯車減速式でクレーン装置用油圧ポンプより取り出す。
- 3) ウインチブラケットには、乱巻防止装置、ロープ押さえ装置を備える。また、旋回支持体後方にガイドローラを設ける。
- 4) ワイヤロープは、一端に単索時の最大荷重に耐えられるフックを備えた **J I S G 3 5 2 5** のワイヤロープ 6×F i (2 9) ，普通 Z より、B 種、20 mm とし、有効長は 60 m 以上とする。
- 5) 操作レバーは、後方ウインチ装置の付近に設ける。また、後方ウインチ装置付近でアクセル操作が可能な構造とする。

g) 附属装置等

附属装置等は、次に示す項目を除き、**D S P D 6 0 1 3** の 2.5.1 k) を基準とする。

- 1) レッカ車は、次による。
 - 1.1) **D S P D 6 0 1 3** の 2.5.1 k) 1) の予備タイヤ 1 EA を収納できる取付具を、クレーン上部旋回体の左側面に取り付ける。
 - 1.2) **D S P D 6 0 1 3** の 2.5.1 k) 2) の燃料携行缶 2 EA を収納できる取付具を、フレーム左側又はプラットホーム右側に取り付ける。
 - 1.3) **D S P D 6 0 1 3** の 2.5.1 k) 4) の洋形おの、ショベル及びバチツルハシの取付具を、プラットホーム前部右側に取り付ける。
 - 1.4) **D S P D 6 0 1 3** の 2.5.1 k) 6) の電源供給用ソケットを、前部プラットホーム右側下部に取り付ける。
 - 1.5) **D S P D 6 0 1 3** の 2.5.1 k) 7) の巻込防止装置を、可変式とし、可変は、150 mm の範囲で努めて大きなものとする。
 - 1.6) **D S P D 6 0 1 3** の 2.5.1 k) 10) の施錠が可能な収納箱を、プラットホーム中

| | |
|-----|------|
| 品 名 | レッカ車 |
|-----|------|

央部のクレーン旋回体前部，右側及び左側にそれぞれ取り付ける。

- 1.7) トウバ取付具を，フレーム後端に取り付ける。また，フレーム前部にけん引，回収等に使用するフックを2 EA 設ける。
- 1.8) ブーム支え具を，プラットホーム後部に設ける。
- 1.9) 作業灯を，クレーンブーム側面及びクレーン操作室付近にそれぞれ取り付ける。
- 1.10) レッキング用つり具等を，有しなければならない。
- 1.11) 船舶輸送に必要なフック（固定用）を，車両に取り付ける。
- 2) レッカ車（ペトリオット用）は，1)の**レッカ車**によるほか，次による。
 - 2.1) 操縦室内に，**CPS-E581193**に示す無線機搭載用架台及び接続ケーブル（無線機からアンテナまでをつなぐケーブル）の固定用金具を有しなければならない。
 - 2.2) 操縦室外部にアンテナ取り付け架台を有しなければならない。
 - 2.3) 走行時に，車両から，無線機用電源（24 V）を給電可能な構造とする。
なお，給電に必要なケーブル（コネクタ付き）を有しなければならない。
 - 2.4) **CPS-V23151**に示す**ミサイル運搬車**からのアース線が接続可能でなければならない。
なお，アース接続口は，P/N **MIS-17259/2-1**又は同等品とする。
 - 2.5) ジャッキ用敷板及び脱着式アルミ製ジャッキ台等を収納可能な収納箱を設ける。
なお，細部は承認図面による。

2.4.2 形状・寸法

形状及び寸法は，表2及び図1を基準とし，細部は承認図面による。

表2－形状・寸法

単位 mm

| 区 分 | | 規 定 a) |
|--------------------------------|-----------|--------|
| アウトリガ最大張出幅 | | 3 970 |
| ブーム長さ | 基本ブーム | 4 250 |
| | 最大ブーム | 9 250 |
| | 伸縮ブーム | 2 500 |
| 総揚程 | | 9 100 |
| ワイヤロープ径 | 巻上げ装置用 | 12.5 |
| | 前方ウインチ装置用 | 16 |
| | 後方ウインチ装置用 | 20 |
| ドラム径 | 巻上げ装置用 | 214 |
| | 前方ウインチ装置用 | 200 |
| | 後方ウインチ装置用 | 230 |
| 注 a) 試験は，試験成績書の提示による確認に代えてもよい。 | | |

| | |
|-----|------|
| 品 名 | レッカ車 |
|-----|------|

2.4.3 質量

車両総質量は、最大 22 000 kg とし、細部は、承認図面による。

2.5 外観・性能・機能

2.5.1 外観

外観は、**DSP D 6013**の**2.6.1**によるほか、次による。

- a) きず，割れ，まくれ，その他の有害な欠陥があつてはならない。
- b) 各部の塗装及びめっきにむらがあつてはならない。
- c) 塗装は，次による。
 - 1) 車体外部は，**C&LPS-V00008**の**2.3**及び**表3**により，2回以上行う。
なお，細部は，承認図面及び色見本による。
 - 2) シヤシ，機関，排気管及び消音器は，製造会社仕様とする。

表 3－塗装

| 種類 | 車体外部 |
|---------------|------------------------------------------------------------------|
| レッカ車 | DSP D 6013 の 2.7 による。 |
| レッカ車（ペトリオット用） | MIL-DTL-64159 TYPE II ， Colors Green 383（ディスクホイールを含む。） |

2.5.2 機能・性能

機能及び性能は，**表5**の試験方法によって試験したとき，**DSP D 6013**の**2.6.2**及び**表4**による。ただし，最大安定傾斜角については，右側及び左側に30度未満の傾きで転覆してはならない。

なお，クレーンのつり上げ荷重は，アウトリガ及びアウトリガジャッキ使用状態で，98 kNとする。また，ブームをブーム支え具に固定し，被けん引車の一端をつり上げてけん引走行する場合の最大つり上げ能力は，43 kNとする。

| | |
|-----|------|
| 品 名 | レッカ車 |
|-----|------|

表 4 - 機能・性能

| 項目 | | | 規定 | |
|------------------|----------------|-----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| 前方ウインチ | | | ドラム最内層で、59 kN（基準）とする。 | |
| 後方ウインチ | | | ドラム最内層で、98 kN（基準）とする。 | |
| ぎ 装 性 能 | つり上げ | 安定度 | 異常があってはならない。 | |
| | | 荷重 | | |
| | | 安全装置 | | |
| | 作業機能 | | | |
| | 作業装置 (油圧装置) | 作業速度 | 巻上げ（6 策フック速度） | 高速で10秒/1m（基準），低速で20秒/1m（基準）とする。 |
| | | | 巻下げ（6 索フック速度） | 高速で12秒/1m（基準），低速で17秒/1m（基準）とする。 |
| | | | ブーム起伏 | 上げ速度は46秒/0度～60度（基準），下げ速度は43秒/60度～0度（基準）とする。 |
| | | | ブーム伸縮 | 伸び速度は33秒/4.25m～9.25m（基準），縮み速度は21秒/9.25m～4.25m（基準）とする。 |
| | | | 旋回 | 50秒/1回転（基準）とする。 |
| | 自然降下量 | 総合降下 | 100 mm/10分以内とする。 | |
| 各装置ごとの降下 | | | | |
| アウトリガ装置 | | 100 mm / 60分以内とする。 ただし、30分経過時に降下量に変動がない場合は、試験を終了してもよい。 | | |
| 圧力調整 | | | 巻上げ，ふ仰，伸縮，旋回，アウトリガジャッキ，前方ウインチ装置，後方ウインチ装置は，17 MPa（基準）とする。 | |

2.6 製品の表示

製品の表示は、C&LPS-V00008の2.4によるほか、細部は承認図面による。

なお、自動車番号標は、C&LPS-V00008の2.4.4の表2“車両法適用除外指定の車両”とする。

| | |
|-----|------|
| 品 名 | レッカ車 |
|-----|------|

3 監督・検査

監督及び検査は、契約担当官等の定める監督及び検査実施要領によるほか、表5及びDSP D 6013の付表1による。

なお、レッカ車に該当の機能がない検査項目は、実施しない。

表5－試験方法

| 項目 | | 試験方法 | 判定基準 |
|------------------|------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 形状・寸法・質量・重心位置 | | 測定項目はDSP D 6013の付表1によるほか、表2及び図1による。 質量は2.4.3による。 なお、重心位置は、計算値の提示を受けて確認する。 | 2.4.2及び2.4.3による。 |
| ウインチ能力 | 前方 | ウインチワイヤをドラム最内層で巻き込み、ウインチの最大けん引力を測定するとともに機構部分の異常を確認する。測定回数は2回以上とする | 2.5.2による。 |
| | 後方 | | |
| ぎ 装 性 能 | つり上げ | 安定度 | “クレーン等安全規則”及び“移動式クレーン構造規格”による。ただし、都道府県労働基準局長の行う製造検査又は使用検査に合格したものは、その検査済証（写）の提示に替えてもよい。 |
| | | 荷重 | |
| | 安全装置 | | JIS D 6301による。 |
| | 作業機能 | | つり上げ作業（ブーム起伏、旋回、伸縮及び使用頻度の高いブームの長さにおける作業を含む。）を連続30分間以上行った時の機能、作動、漏れ、異音、加熱等を調べる。 |
| | 作 業 装 置 （ 油 圧 装 置 ） | 作 業 速 度 a) | 巻上げ （6索フック速度） |
| 巻下げ （6索フック速度） | | | 試験を行うジブに対応する定格総荷重をつつた後、あらかじめ定められた一定距離を巻き下げてその所要時間を測定する。 |
| ブーム起伏 | | | JIS D 6301による。 |
| ブーム伸縮 | | | |
| 旋回 | | | 空フック状態でブーム角度を50°とし、右及び左に旋回し、1回転した際のそれぞれの所要時間を測定する。 |

| | |
|-----|------|
| 品 名 | レッカ車 |
|-----|------|

表 5 - 試験方法 (続き)

| 項目 | | | 試験方法 | 判定基準 |
|---------------------------------------------------|------------------------------------------------|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| ぎ 装 性 能 | 作 業 装 置 (油 圧 装 置) | 自然降下量 | 総合降下 アウトリガ装置を最大張り出し状態とし、ブーム角度を最大にした後、伸縮ブームを最長とし、定格総荷重の1.25倍の荷重を加えたまま油圧制御弁を閉止及び油圧ポンプを停止して、10分後のフック又はブーム先端における総合降下量を測定する。 | 2.5.2による。 |
| | | | 各装置ごとの降下 アウトリガ装置を最大張り出し状態とし、ブーム角度を最大にした後、伸縮ブームを最長とし、定格総荷重の1.25倍の荷重を加えたまま油圧制御弁を閉止及び油圧ポンプを停止して、10分後の伸縮ブーム及び起伏シリンダの降下量を測定する。 | |
| | | | アウトリガ装置 アウトリガ装置を最大張り出し状態とし、定格総荷重の1.25倍の荷重を加えたまま油圧制御弁を閉止及び油圧ポンプを停止して、仕様上最も大きな路面荷重が働く条件のブーム長さ及び起伏角度によってアウトリガのある一定点における60分後の降下量を測定する。ただし、測定するアウトリガは後側とし、左右差がないことを確認できている場合は、左右のどちらかでよい。 | |
| | | 圧力調整 ^{a)} | JIS D 6301による。 | |
| 塗装 | | | 目視による。 | 2.5.1による。 |
| 注 ^{a)} 作業速度の回転数は、1000rpm(許容差は-10rpm)とする。 | | | | |

4 出荷条件

出荷条件は、商慣習による。

5 その他の指示

5.1 提出書類等

提出書類等は、次による。

- a) 類別原資料は、C&LPS-Y00007の4.1.1による。
- b) 取扱説明書等は、C&LPS-V00008の5.1.2による。
- c) 車両法適用除外指定申出書関連書類は、C&LPS-V00008の5.1.3による。

| | |
|-----|------|
| 品 名 | レッカ車 |
|-----|------|

d) 完成写真等は，C&LPS-V00008の5.1.5による。

e) 車両等主要諸元資料は，C&LPS-V00008の5.1.6による。

5.2 自動車検査証・車歴簿

自動車検査証及び車歴簿は，C&LPS-V00008の5.3及び5.5による。

5.3 附属品・予備部品

附属品及び予備部品は，C&LPS-V00008の5.6によるほか，表6による。

表6－附属品・予備部品

| 品名 | 数量 | 注記 |
|------------------|-----|----------------------------------------------------------------------------|
| ホース | 1本 | 空気用，2口注入口，8m |
| 消火器 | 1EA | 粉末消火器ABC・1.8kg・自動車用（消防法及び国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律第6条及び第7条の規格の適合品，リサイクルシール付） |
| 非常信号灯 | 1EA | 道路運送車両の保安基準適合品，乾電池式 |
| 予備タイヤ | 1EA | ホイール付 |
| ウインチカバー | 1EA | 前方ウインチ装置用 |
| | 1EA | 後方ウインチ装置用 |
| フロントステー | 2EA | — |
| トウバ | 1組 | |
| スナッチブロック | 1EA | |
| 始動用キー | 2EA | |
| ジャッキ用敷板 | 4枚 | レッカ車（ペトリオット用）を指定した場合のみ |
| 脱着式アルミ製 ジャッキ台 | 2EA | |

| | |
|-----|------|
| 品 名 | レッカ車 |
|-----|------|

5.4 承認用図面・色見本

承認用図面及び色見本は、次による。

- a) **承認用図面** 契約の相手方は、C&LPS-Y00007の4.3により、次の承認用図面を作成の上、提出し、承認を受けなければならない。
- 1) 外形図 [寸法、質量及び2.4.1 g) 2.4) のP/N MIS-17259/2-1又は同等品の記載を含む。]
 - 2) 塗装配置図
 - 3) 航空自衛隊標識図
 - 4) 銘板図
- b) **色見本** 契約の相手方は、C&LPS-Y00007の4.3により、車体外部の塗料の色について、色見本を作成の上、提出し、承認を受けなければならない。
 なお、色見本の細部については、C&LPS-V00008の2.3.4による。

5.5 装備品等不具合報告（UR）対策

装備品等不具合報告（UR）対策は、C&LPS-Y00007の4.4による。

5.6 技術変更提案（ECP）

技術変更提案（ECP）は、C&LPS-Y00007の4.7による。

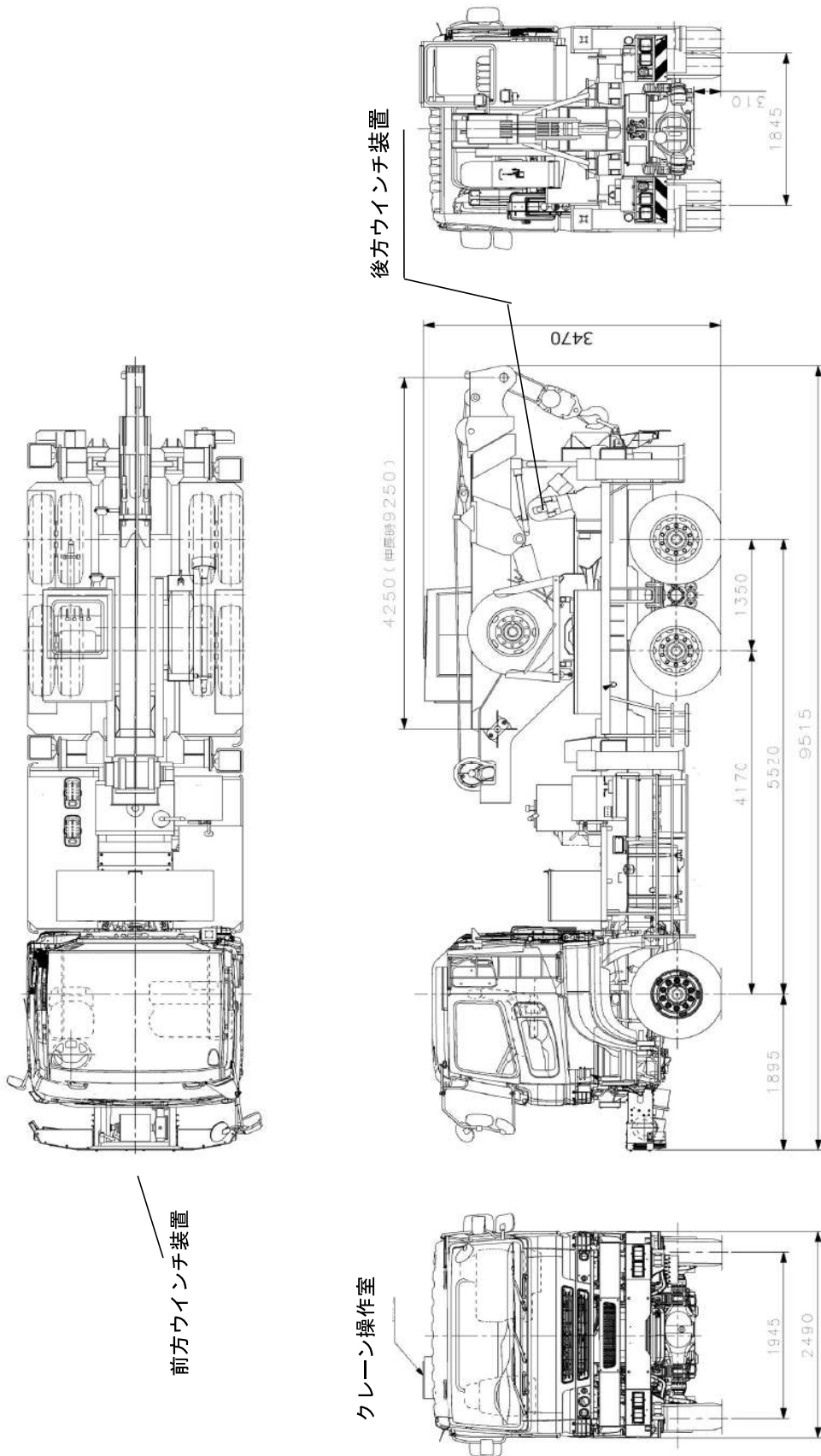


図1 トラックの構造、形状及び寸法